

世界へ広がる被爆樹木

「緑の遺産ヒロシマ」

被爆樹木の種や苗を世界各地に送る、市民団体「緑の遺産ヒロシマ」(広島市中区)の活動が、着実に根を広げている。2011年7月のスタートから間もなく2年。日本を含む15カ国で平和を願う被爆地広島の人々とともに育っている。(増田咲子)



8000の種や苗送付 15カ国で根付く



クスノキを世話するシンカポールの学生(緑の遺産ヒロシマ提供)
被爆イチョウの苗木を見る、緑の遺産ヒロシマの渡部さん(左)、アジミさん(中)、スタッフの山田英子さん(右)

活動には、広島市植物公園や樹木医からも協力。爆心地から約2キロ以内にある被爆樹木のうち、アオキや、イチヨウ、エノキ、柿、クスノキ、クロガネモチ、センダン、ナツメの約8千の種や苗を、希望する国内外の学校や団体などに送った。活動には、広島市植物公園や樹木医からも協力。爆心地から約2キロ以内にある被爆樹木のうち、アオキや、イチヨウ、エノキ、柿、クスノキ、クロガネモチ、センダン、ナツメの約8千の種や苗を、希望する国内外の学校や団体などに送った。

検疫を経て環境に合致した樹木がアフガニスタンやアルゼンチン、イラン、南アフリカなどで根付いている。「こんなに苦しくても立ち上がる希望のメッセージを届けたい。人々が守ってきた被爆樹木は、世界遺産や苗を送った後も交

種や苗を送った後も交

種や苗を送った後も交

種や苗を送った後も交

22 April 2013, Chugoku Shinbun
A-Bomb Survivor Trees are spreading
over the world – Green Legacy Hiroshima
8000 seeds and saplings begin rooted in
15 countries

ある。英語での講演には、日本語への逐次通訳が付く。
参加無料。要申し込み。
☎082(511)2424